

令和7年度事業計画

1 基本方針

令和6年度は、令和3年度に作成した京都 SKY センター改革計画の仕上げの年として、収支相償を実現することを財務面での目標に定め取り組み、SKY センターではこの計画を上回る収入確保とコスト削減を実施してきたものの、京都府からの補助金が大幅に削減されたため目標達成には至らなかった。

一方で、事業面では、計画に示した事業改革を踏まえ、アフターコロナの理念のもとに取り組んだが、概ね順調に事業展開を図ることができ、コロナ禍の経験を踏まえた事業スタイルへの変革がほぼ定着し、安定化してきたところ。

こうした中で令和7年度については、改革計画の理念を引き続き踏襲し、①京都市内集中型から府域全域型へ、②利己実現型から社会貢献型へ、③シニア間交流型から多世代交流型へ、という3つの方向性を確認しつつ、シニアが生きがいとやりがいを持って地域社会の中で元気に活躍する京都府づくりをめざし、全力を挙げて各般の施策・事業を推進していく。

なお、令和7年度予算においても、京都府補助金の削減が事業費のみならず人件費にまで及んでおり、団体運営が困難な状況になりつつある。このため、団体の将来像に関する京都府の方針を確認しつつ、今後の対処方向を検討する。

2 事業計画

(1) 情報発信・啓発関連事業

① 「全国健康福祉祭（ねんりんピック）参加者派遣事業」

令和7年度は10月18日（土）～21日（火）に岐阜県で開催される「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会」に参加者を派遣し、健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図る。

併せて、参加者の経験を地域でのふれ合いと活力ある長寿社会づくりに活かすため、SKY センター事業への誘引等を通じて地域活動への積極的な参画を促す。

② 「SKY ふれあいフェスティバル 2025開催事業」

シニアの健康保持・増進、ふれあい、生きがいの高揚を図るとともに、多様な世代が人生100年時代を体感し、ともに考える機会を提供するため、シニアが目的志向

でゆっくり・じっくり体験できるよう留意して、次の2つのイベントを隣接会場で同日開催するとともに、昨年度まで別日に開催していた生涯現役社会推進プロジェクトの「SKY ボランティア活動見本市」を「SKY人生 100 年フェスタ・R7」と同時開催し、3つのイベントの相乗効果と来場者・出展者等の利便性の向上を図る。

イ「SKY ふれあい作品展2025」

◇開催日 令和7年11月28日（金）～30日（日）〔3日間開催〕

◇場 所 京都市美術館別館

◇内 容 ・シルバー美術展（日本画、洋画、彫刻、書、写真）
・SKY サークル作品展 ・企業OB 作品展 など

ロ「SKY 人生 100 年フェスタ・R7」

◇開催日 令和7年11月29日（土）30日（日）（29日は午後から開催）

◇場 所 京都市勤業館みやこめッセ 第2 展示場

◇内 容 ・シニアの暮らし情報コーナー（企業・団体などの啓発）
・SKY サークルコーナー（体験・紹介）
・わくわくステージ発表会（シニアグループ、小・中・高生の発表など）
・高校生横丁（呈茶、農作物の販売、脳トレ、健康づくりなど）
・スマホ何でも相談 ・スタンプラリー ・SKY コーナー

<同時開催>「第6回 SKY ボランティア活動見本市」

③ 「情報誌 SKY 発行事業」

シニアの健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり、さらには地域活動への参画のきっかけづくりに資するとともに、健やか、快適、豊かなシニアライフに役立つ京都府等の行政情報等も満載した情報誌を発行する。

- ・発行時期 隔月（奇数月）発行
- ・発行部数 5,000 部
- ・配布先 公的機関、提携施設、会員等

（2）健康づくり・生きがいづくり・地域貢献関連事業

① 「京都 SKY シニア大学開催事業」

シニアの生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりに資するとともに、地域社会の

活性化を促す人材の養成と社会参加意識の醸成を図るため、1年制の京都SKYシニア大学を開講する。

令和7年度は、3年ぶりに北部キャンパスを京丹後市で開講するとともに、昨年度、京都府立医科大学の全面的なご協力を得て新設し好評を博した「健康長寿コース」を継続する。

また、「スマホコース」を初心者向けにリニューアルし、修了生が立ち上げたスマホサークルとの連携・サポートにより実施するとともに、山城キャンパスを府南部の学習拠点として、常設コース化するなど、時代のニーズを的確に捉えた魅力ある11コース・カリキュラムを設定し、受講生の一層の拡大をめざす。

◇開講期間 1年間（5～3月）

◇講座数 月3～4回（年間約25回）

◇募集定員 840名（令和6年度比40名増）

◇コース名 「歴彩・京都学」「健康長寿」「アクティブシニアライフ」
「スポーツ」「スマホ活用」「山城再発見」「京都見聞」
「ガイドが魅せる京都（2クラス）」「人生100年・探究心」
「自然体験」「北部キャンパス（京丹後市）」

② 「人生100年シニアパワー結集事業」

イ「生涯現役社会推進事業」

地域のSKY生きがいがづくり推進員、社会福祉協議会、老人クラブ、NPO等と連携しながら、シニアが地域の担い手として活躍できるようにスキルアップ研修等を行うとともに、地域活動等とのマッチングを行い、シニアの活躍を支援する。

具体的には、運転ボランティア、車いすメンテナンス、傾聴ボランティアなど福祉ボランティア関係の技能を身に着けるためのスキルアップセミナーを開催するほか、おもちゃ病院、パソコンお絵描き、紙芝居、朗読など子育て支援に参画するシニアの育成並びに活躍の場の提供等に積極的に取り組む。

また、年々内容が充実してきている、地域貢献活動への参加意欲のあるシニアとボランティア団体等とのマッチングを行う「SKYボランティア活動見本市」の第6回目を「SKY人生100年フェスタ・R7」と同時開催し、両イベントの相乗効果と来場者・出展者の利便性の向上を図る。

さらに、SKYシニア大学やセミナー受講生などSKYセンター会員を中心に、ボランティアスキルの養成から地域での活動までを一貫して支援する「シニアボランティアバンク」の取組を強化し、地域でシニアが活躍できるよう、より積極的に取り組む。

ロ「SKY 地域活力創生事業（生きがいづくり推進員活動支援事業）」

人口減少・少子高齢化の進行により地域社会の過疎化・活力低下が喫緊の課題となっており、こうした課題解決の一助とするため、府内各地の生きがいづくり推進員をはじめ、市町村、老人クラブ、各種団体等の協力を得ながら賑わい創出など地域活力の創生につながる多様なイベント・事業を推進する。

具体的には、生きがいづくり推進員が主体的に企画・運営を行う自主事業や、おこしやす京都 100 巡りウォーク事業等を実施する。

ハ「多世代交流事業」

主として高校生との交流を通じてシニアの健康づくり・生きがいづくりを促進するとともに、高校生には社会貢献活動の貴重な実体験の場を提供する。

具体的には、北から南まで府域全域の6つの連携協定締結校（清新、峰山、大江、清明、京都すばる、木津）とタイアップして、生徒、シニア、介護予防サポーター、NPO 関係者等が参画し、健康体操や脳トレ、スマホ講習等の介護予防を行う「ねんりんサロン」や多世代交流バス研修を行うほか、SKY 人生 100 年フェスタ R7 に設ける高校生横丁等に多数の府立高校の参画をコーディネートする。

ニ「SKY 学活セミナー開催事業」

シニアにとって最も関心の高い介護、終活、相続等のセミナーや、シニアライフの充実に寄与する健康・生活・趣味関係の講座に加え、傾聴・手話・子育て・介護など社会貢献活動に繋がるセミナーとともに、スマホ活用講座など現代社会のシニアのニーズに的確に対応するセミナーを積極的に開催していく。

また、各種セミナーの中でも、SKY 法人会員とタイアップした新しいタイプのセミナー（資産運用と証券投資、保険活用、お掃除セミナー、シニアドライバー安全運転、幸せと生きがい講演など）や、SKYトレイル委員会がプロデュース（旧理事長プロデュース）する「千年都市の山々を歩くシリーズ」、令和6年度からスターとした「京都近郊の名山を歩くシリーズ」が人気となって北部地域からの参加も増えていることから、令和7年度はこうしたセミナーの継続開催にも注力する。

ホ「サラリーマン・シニア社会活動支援事業」

シニア世代を対象に「健康・生きがい・仲間づくり」の場を提供するため、サラリーマンOB・OGの方々等で構成するイベント企画運営委員会を設置し、シニアの視点に立った多彩なイベントを企画・実施する。

具体的には、ウォーキング、歴史散策、社会見学などシニア世代に関心の高いイベントを実施するほか、令和5年度から働くサラリーマン・シニア世代も参加しやすいように進めてきた土日イベントの開催を継続し、働くシニアの参加をより一層促進する。

（３）相談・情報提供関連事業

① 「高齢者総合相談事業」

シニアやその家族等が抱える生活全般にわたる悩み事等の相談に対し、相談者の思いに寄り添って懇切・丁寧に対応する。生活・福祉等に関する一般相談に加え、法律（財産管理等）に関する専門相談にも対応する。

② 「高齢者生活・福祉関連情報提供事業」

エンディングノートの販売・啓発、終活・介護離職予防セミナー等への講師派遣、老人福祉施設等に関する情報提供、救急医療情報キットの提供、介護関連ビデオ／DVDの貸出し等を実施する。

（４）会員関連事業

① 「SKY サークル活動支援事業」

SKY センターの会員で結成されている文化系・スポーツ系のサークル・同好会活動に対し、ハード・ソフト両面から支援するとともに、サークル代表者でつくるサークルネットを通じて行われるサークル間の交流・連携を促し、シニアの健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり活動を活発化する。

② 「SKY センター会員の集い事業」

SKY センターの事業活動に賛同し、支援・協力をいただいている法人会員に感謝の意を伝えるとともに、会員同士の相互交流の機会を提供するため、法人会員の集いを開催する。

また、多くの個人会員にも、平素からSKY センターの事業への積極的な参加や運営協力にご尽力いただいております。こうした方々への還元策の一環として、SKY 会員の集い及び大阪・関西万博日帰りバスツアー等を実施し、令和6年度に微増に転じた会員数のさらなる増加を目指す。